

# COMMORER LIFESTYLE CATALOG #15

## Buddy • Garden • Hobby • Scenery • Others

「身体暖めて、心を繋いで(2)： 焼きいもとリース教室、住民を結ぶ試みのレポートです！」

12月6日の落ち葉清掃・焼きイモから1週間、13日の午後からは街並み委員会の主催でリース作り教室が開催されました。クリスマス、お正月と続く木リディシーズンを彩るリース作りは人気のイベントで、コモアでは3年ほど前に積水ハウス主催で実施されましたし、同じ13日には上野原市でも開催されています。そこで今回は「公園・緑道の「緑の贈り物」を使ってのリース作り」と銘打って、団地内に溢れるほど茂っている緑を利用した「グリーンリース」教室として開催しました。リースといえばベルや星などのオーナメントが定番ですが、団地内の植物や木の実でも素敵なりースができるのを知って貰うのも目的の一つです。

講師は趣味でリース作りを楽しんでいるという街並み委員で活躍中の美術系女性が担当し、材料となる植物の採取は街並み委員の有志が、当日のヘルプには講師の友人や大分大学柴田研究室の院生さん3名が入ってくれました。



地産地消です



ヘルパーさんと楽しく作成



男性も参加されて作成中です

最初に講師からワイヤーの使い方などの基本的な方法を丁寧に教わり、後は個人の感性で思い思いの作品を作っていきます。基本はグリーンのリースですが、スワッグ（花束の壁飾り）や正月の注連飾り、フラワー フォームを使ったクリスマスツリー や盆栽？を自由に作っていきました。

皆さん和気藹々で作成を楽しんでいるうちに、あっという間に予定の2時間が過ぎました。まだまだやる気も材料も余っていましたが一旦終了として、その後

は皆さんの力作を展示して鑑賞会をしながらの茶話会を開催しました。ヘルプの学生さんの就職内定祝いを兼ねたケーキを食べながら講師の講評を聞きましたが、皆さんの出来が良かったのは講師の満面の笑顔で明らかでしょう。



笑顔で講評中の講師です

参加者からは「次は花の時期に作ってみたい」とか「この植物はなんて名前？」「実物を見てみたい！」など、新たな交流のきっかけとなるような有意義な会話が続きました。

これまで実施してきた外部の方による講演会では普段は得られない情報を知ることができます、一方で講師と参加者との意見交換が中心となって参加者同士の交流の機会は多くないように思います。特に積極的に発言・主張することに慣れていない人にとっては、焼きイモやリースといった「気楽に」「自ら」参加・協働できることが仲間作りに大切な実感できましたし、今回のような機会があれば参加者同士の会話から新たな交流や企画が生まれる可能性を感じました。またやりましょうね！

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブ「コモアの風」へのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方は街並み保全実行委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。